

公益信託しまね文化ファンド 2019年度 後期決定事業一覧

■地域文化振興(5件)

単位:千円

事業名	団体名	実施地	実施月	助成 決定額	事業概要
1 出雲五色天神復活事業	島根県退職公務員連盟斐川部	出雲市	9～3月	100	出雲地方で子供の誕生や節句の祝いに贈る風習のあった「出雲五色天神」の再復活と継承を目指し、希望者を募って制作研修会を行う。完成作品は出雲市内のコミュニティーセンターなど数カ所で開催し、その由来や歴史などを広く紹介する。地域文化の掘り起こしを目指す。
2 たたら操業体験2019	(公財)鉄の歴史村地域振興事業団	雲南市	12月	400	日本で唯一たたら製鉄の生産地域が現存する雲南市吉田において、その文化的価値や歴史背景を多くの人に伝えようと「たたら操業」の体験事業を行う。参加者は公募し、地域を知るフィールドワークから実際の操業まで、5日間にわたってたたら文化を学ぶ。
3 第23回 本因坊道策記念囲碁大会	大田市の囲碁を盛んにする会	大田市	3月	200	大田市仁摩町出身の棋聖「本因坊道策」を顕彰し、囲碁文化の継承とまちづくりの一助にしようと、誰でも楽しめる囲碁大会を開催する。プロ棋士を招き、6部門による対局や指導棋、子供囲碁教室を実施するほか、道策の紹介コーナーも設ける。囲碁を通して幅広い世代が交流し、あらためて地域を知る機会とする。
4 「風土記を訪ねる会」広報記念誌出版	風土記を訪ねる会	松江市	9～3月	500	2017年に会の20年にわたる研究成果を県民にも公開しようと本にまとめ出版した。今回、その後の研究結果や専門家の論文などを加え、「出雲風土記」の価値を広く伝えようと第2弾を作成する。講演会や見学会も実施し、出雲風土記の楽しみ方を発信する。
5 <県民文化祭共催事業> 月山富田城 月見の宴	広瀬町文化協会	安来市	10月	200	広瀬の古刹・広厳寺を会場に、月山を抱く風土を生かした月見の宴を開催する。小・中学生を対象にした琴の演奏や地元団体が詩吟、合唱を発表する。また、地域の歴史にまつわる講話も行い、埋もれた文化の掘り起こしと郷土愛醸造の契機とする。
<b>小計</b>			<b>5件</b>	<b>1,400</b>	

■芸術文化振興(23件)

単位:千円

事業名	団体名	実施地	実施月	助成 決定額	事業概要
6 川柳塔まつえ吟社 創立50周年記念大会	川柳塔まつえ吟社	松江市	11月	200	松江市内の川柳愛好者で会を作り、柳誌の発行や大会などを行っている。活動50周年を記念し、参加者を広く募って講演会と川柳大会を開催する。年齢や世代、場所に関わらず気軽に楽しめる分野であることをアピールし、島根における文芸活動の活性化に取り組む。
7 海神楽2019 ～奇跡の光景～	海神楽実行委員会	大田市	9月	600	大田市温泉津町の福光海岸浜辺に舞台を組み、日本海の水平線を背にして石見神楽を上演する。自然を背景に、祈る・祀る・清める・舞うという神楽本来の意味を追求し、より島根らしい文化として発信する。
8 石見神楽亀山社中 20周年記念事業	石見神楽亀山社中	浜田市	12月	700	結成20年の節目として、浜田で生まれた石見神楽八調子と神楽産業について考える機会にしようと神楽公演とシンポジウムを行う。専門家による基調講演の後、神楽団体や神楽産業の担い手がパネラーとなり、今後のあり方などを議論する。また、神楽に関する展示やワークショップも行う。
9 <県民文化祭共催事業> こども芸能大会2019 ～地方で受け継ぐ伝統と創造～	佐田町文化協会	出雲市	11月	1,000	出雲市内で伝統芸能や創作活動に励む子どもたちが一堂に会し、特色ある芸能を互いに発表し合い交流を行う。日ごろの学校生活では体験できない世代間交流や、稽古時における礼儀作法を学ぶ貴重な機会でもある。

公益信託しまね文化ファンド 2019年度 後期決定事業一覧

	事業名	団体名	実施地	実施月	助成 決定額	事業概要
10	大田ミュージカルスクール「フレんズ」	大田ミュージカル実行委員会	大田市	1～2月	500	ミュージカルが音楽・身体表現に優れている点に着目し、プロの演出家を講師に迎え小学生から一般を対象にしたミュージカルスクールを開催する。スクールの最終日には大田市の伝承を題材にしたオリジナルの脚本でミニ発表会を行い、受講の成果を振り返る。
11	フラメンコライブ 粋 iki	フラメンコスタジオ アブエスト	安来市	10月	400	フラメンコの奥深い世界を楽しんでもらおうと、県外のフラメンコアーティストの助演を得て公演を行う。1部では子供から大人までの会員が様々なフラメンコ曲を披露するほか、観客にもフラメンコの一部を体験してもらう。2部では、「たたら製鉄」をモチーフにした創作舞台を地元若手バイオリニストとの共演で発表する。
12	2020「ニューイヤー里がえりクラシックコンサート」	2020「ニューイヤー里がえりクラシックコンサート」実行委員会	浜田市	1月	600	浜田市出身者が活躍する混声コーラスグループ「フォレスタ」のメンバーと、地元出身で現在市外や県外で活躍する音楽家、市内の合唱団によるジョイントコンサートを開催する。1部ではプロとの共演でオペラを、2部では地元出身者を中心とした合唱演奏を披露する。
13	ヴォーカルアンサンブル レザミデュソン 10周年コンサート(仮称)	ヴォーカルアンサンブル レザミデュソン	益田市	12月	200	宗教曲をレパートリーに、自主公演はじめ各種事業にも積極的に参加している。記念公演として、難易度の高い作品を披露するほか、地元のジャズバンドとクラシックバレエとの初共演で、ストーリー性のあるプログラムに取り組む。演奏会を通して合唱の多彩さを発信し、県西部の音楽活動盛り上げを図る。
14	混声合唱団 みずうみ 15周年記念コンサート	混声合唱団 みずうみ	松江市	10月	300	平均年齢73歳で、80人以上が所属する松江市内最大規模の合唱団体として活動している。パイプオルガンを伴奏に様々な編成で組曲を披露するほか、ナレーションと影絵を入れ視覚的にも楽しめる演出を試みる。最後には出演者と会場一体で大合唱を行い、歌うことの楽しさを分かち合う。
15	〈県民文化祭共催事業〉 第28回 県民手づくり第九コンサート in島根	島根第九をうたう会	松江市	12月	200	合唱・オーケストラの出演者を一般から募り、約6ヶ月の練習期間を経て年末にコンサートを行う。指揮者とソリストには島根県出身者や島根と縁のある演奏者を起用し、人材育成にも努めている。演奏の最後には会場全体で島根県民歌を歌い、県民歌の普及啓発も行う。
16	しまねカンタート2020	しまねカンタート2020実行委員会	松江市	1月	1,900	日本の第一線で活躍する作曲家、指揮者、声楽家から日本語合唱の表現方法を体得するセミナーと、音楽交流を目的としたコンサートを行う。コンサートには公募による県内外のアマチュア約30団体が出演し、互いに聴き合うことで今後の活動の刺激とする。
17	リズムミックスVol.10 ～音の出会い つながるリズム～	リズムミックス	出雲市	2月	400	鍵盤楽器を得意とする有志で団体を作り、音楽の楽しさを広めようと活動している。10回記念としてダンスやゴスペルはじめ過去の出演者たちと共演するほか、経験があまり無い楽器の演奏に挑戦する。観客にも演奏に参加してもらい、音を創る楽しさを共有する。
18	San'in 打楽器フェスティバル (仮称)	山陰打楽器フェスティバル 実行委員会	雲南市	12月	400	島根ではあまり実施されていない打楽器のレクチャーとコンサートを、プロの奏者を講師に迎え開催する。コンサートでは地元の団体によるアンサンブル演奏や講師との共演を披露する。また、講師との交流時間を設け、打楽器の魅力や音楽の楽しみ方を伝える。
19	The Brass Band「HAPPINESS」 雲南ドリームコンサートwith the Meads	プラスバンドドリームコンサート 実行委員会	雲南市	12月	600	金管楽器と打楽器で構成する島根県では珍しい英国式プラスバンドとして活動している。世界的なユーフォニアム音楽家を迎え、初の自主公演に取り組む。また、県内から広く受講者を募り、ユーフォニアムのクリニックも行う。
20	第10回 しまねハーモニカフェスティバル	しまねハーモニカサークル	大田市	11月	100	ハーモニカ愛好者や団体でサークルを構成し、ハーモニカの懐かしい音色を多くの人に味わってもらおうと2010年から毎年開催している。童謡や唱歌、演歌など人気の高い曲を中心に約40曲を発表する。最後には特別ゲストとの共演を行う。

公益信託しまね文化ファンド 2019年度 後期決定事業一覧

	事業名	団体名	実施地	実施月	助成決定額	事業概要
21	悠色ふるさと吹奏楽団 第18回定期演奏会	悠色ふるさと吹奏楽団	川本町	12月	200	2004年に団体を結成、郡外からも参加者が集まり川本町を拠点に活動している。学校団体をゲストに迎えて共演を行うほか、難易度の高い曲や観客参加型の合唱曲を演奏する。2年後の20回記念の前段階として取り組む。
22	第10回 春の縁奏会	出雲交響吹奏楽団「縁」	出雲市	3月	300	20～30代の楽器経験者を中心に斐川町を拠点として活動しており、世界初演曲など島根県内ではあまり演奏されていない珍しい曲を取り上げている。今後の活動で長く活用しようと、出雲の地をイメージした楽団オリジナル曲を委嘱し初演する。
23	〈県民文化祭共催事業〉 サウンドライブしまね アマチュア・ミュージック・フェスティバル	サウンドライブしまね実行委員会	県内4カ所	1～3月	1,600	県内のアマチュアミュージシャンを支援しようと県内4カ所でコンサートを開催する。出演者を広く募りステージ発表の機会を提供するほか、バンドクリニックも実施し技術面でのサポートも行う。県全域での音楽活動の底上げと人材発掘を図る。
24	〈県民文化祭共催事業〉 10周年記念「神話の杜 芸能祭」	大東町文化協会	雲南市	2月	150	文化協会に所属し、舞台での発表が可能な各種芸能や音楽団体が日ごろの取り組みを市民に発表し、地域における文化活動の活性化につなげようと開催している。約21団体が1年間の活動成果を披露し、互いの交流と研鑽の場とする。
25	〈県民文化祭共催事業〉 第10回記念 雲南市総合芸術文化祭	雲南市文化協会	雲南市	12月	900	舞台・展示とともに毎年テーマを決めて開催している総合文化祭。10回記念として、舞台部門では雲南市内でも愛好者の多い「コーラス」を取り上げ、奥出雲町出身のオペラ歌手を講師に迎えてのワークショップと共演コンサートを行う。展示部門では「華道」をテーマとし、市内華道団体が作品展を催す。
26	〈県民文化祭共催事業〉 第15回 奥出雲町芸術文化祭 「おかるフェスタ」	奥出雲町文化協会	奥出雲町	10～11月	400	町内で行われている文化活動で地域を盛り上げようと、10～11月にかけて複数の場を会場に作品展や舞台発表、体験コーナーを行う。また、まちなかでのアートギャラリーやブックカフェ、地域資源を活用した講座なども実施し、より開かれた文化祭を目指す。
27	〈国民文化祭参加事業〉	公道流 吟道島根県吟詠連盟 (浜田市)	新潟県 長岡市立 劇場	10月6日	700	1963年に団体を結成、県内に9つの地区会があり各所で指導も行っている。今回は2回目の参加で24人の会員が出場し、日ごろの活動成果を発表する。全国各地の団体と交流し、次世代への継承に対する意識を高める。
28	にいがた2019 「吟舞の祭典」	清吟堂吟友会松江ブロック (松江市)			600	1977年に団体を立ち上げ、これまで国民文化祭には13回参加している。今回7年振りに出場し、「山中鹿之助」をテーマに吟じる。吟詠にのせて島根の文化を発信するとともに、今後の活動に還元することを目指す。
			<b>小計</b>	<b>23件</b>	<b>12,950</b>	

■国際文化交流(1件)

単位:千円

	事業名	団体名	実施地	実施月	助成決定額	事業概要
29	「セロ弾きのゴーシュ」ブルガリア公演	認定特定非営利活動法人 あしぶえ (松江市)	ブルガリア	10～11月	1,000	在ブルガリア大使館が1990年より毎年開催している「日本文化月間」に参加し、2都市で宮沢賢治原作の「セロ弾きのゴーシュ」を上演する。また、市民公開のもとで現地俳優たちとのアフタートークや演劇活動者たちとの意見交換会を行う。帰国後、ブルガリアでの経験や成果を県内にフィードバックする。
			<b>小計</b>	<b>1件</b>	<b>1,000</b>	

**2019年度後期 助成事業 合計 29件 15,350** 単位:千円